

実現しよう！同一労働同一賃金

日立ジョンソンコントロールズ空調
と関連会社で働く
人のネットワーク



2016年2・3月

No. 66

発行：オアシス

編集委員会

連絡先：多田義幸

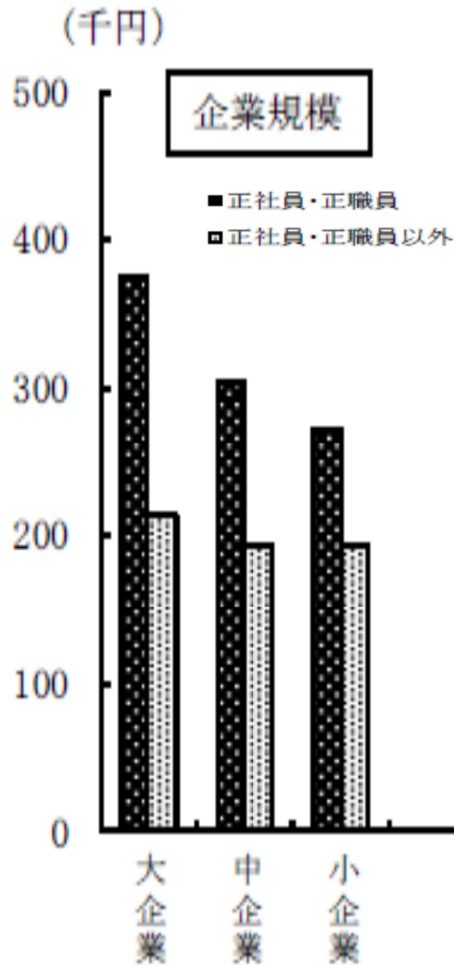
TEL

090-9121-0602

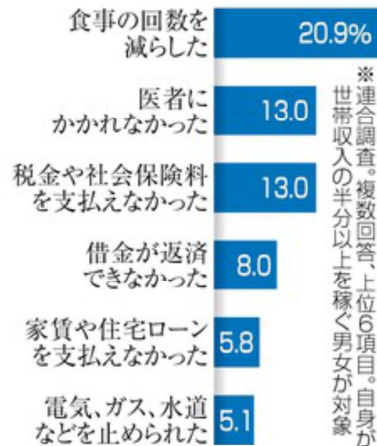
同一労働同一賃金は、正規であれば、正規であれ、同じ仕事をしていけば、同じ賃金をもらうべきだという考えです。ヨーロッパでは各種指令がEUからなされ、順次実現していますが、日本では実現できていません。そのため、正規と非正規との賃金格差が問題となっております。

非正規と正規の格差

厚生労働省の平成26年賃金構造基本統計調査によると、左図のように、非正規の賃金は正規の約6割程度の結果になりました。さらに正規は年齢によって上昇していくものの、非正規はほとんどが横ばいとなるため、所得格差は拡大する一方です。その結果として、非正規労働者の生活状況は、下図のように、食事の回数を減らすなど困窮する事態となっております。このような状況を改善するため、同一労働同一賃金の考え方を取り入れ、非正規の賃金を引き上げ、正規との格差を是正し、均等待遇にすることが重要となります。



非正規労働者の生活状況



全ての労働者を対象にした交渉が重要

これまでの日立A.P.労組の春闘交渉では、正規労働者を中心に賃金交渉が行われてきました。非正規のうち直接雇用労働者については、最低賃金の要求はありましたが、年齢別の賃金やベア要求はありません。派遣及び請負労働者については、会社と異なる理由で、交渉に含められていません。非正規労働者の苦しい生活実態を配慮し、労働組合は、全ての労働者を対象に、賃上げを実現することが求められます。